



さきばる

さいごまで きあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

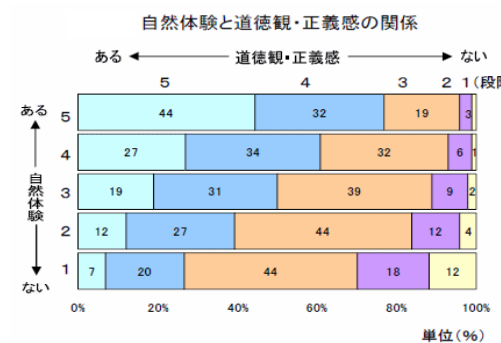
8月26日(金)
「親子読書の日」
 親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

よく遊ぶ

崎原小中学校 校長 鐘 謙治

1学期も無事終了しました。落ち着いた学習態度や忘れ物が減るなど、子どもたちの成長にうれしく思います。

いよいよ夏休みです。安全第一は言うまでもなく、ゲーム中心でなく、外でも大いに遊んでほしいです。



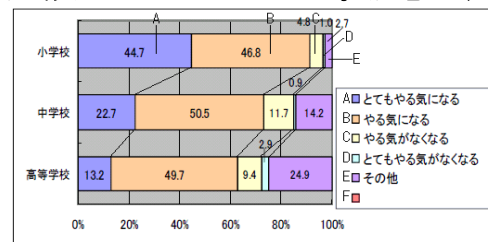
さて、今回は外で遊ぶことに着目したいと思います。左のグラフは自然体験と道徳観・正義感の関係を調べた結果です。自然体験が多い子ほど、道徳観や正義感が強いというデータです。つまり遊びといった自然体験が多いほど心も豊かに育つと言えます。いじめ問題の解決はどうやらここにあるようです。

実は、遊びには他にも重要な働きがあります。右下図は脳の部位です。脳の中の新しい皮質は知識

などを、古い皮質は本能などをつかさどります。孤立化を嫌い、集団で生活しようとする、「集団本能」は、古い皮質です。新しい皮質は睡眠をとると、元通りになりますが、古い皮質は睡眠で疲れが回復することはありません。疲れを癒やすには、安心して話したり遊んだりすることが必要です。集団本能が満たされないと無気力、ノイローゼになったりするとわれ、疲れがとれないと大変です。子どもなら戸外で友だちと遊ぶこと等で疲れはとれ、強められていきます。父さんたちの居酒屋での交流、お母さんたちが知り合いと井戸端会議をされるのも、古い皮質の癒やしになるといいます。遊び、交流、長話等はとても大切なことでもあり、大げさに言うと自然に身につけたノイローゼ防止法です。しかしながら、コロナの影響もあり、人と触れあうことや人と語り合う時間は、大幅に減少してしまいました。残念です。

次に右のグラフを御覧ください。これは、「自然に触れる体験をしたときに勉強に対してやる気になるか」という内容のグラフです。小学校では90%以上、中学校でも70%以上が自然体験活動を行うことで、勉強もやる気になると答えています。

どうやら自然と触れあいながら遊ぶことは、子どもたちにいい影響を与えるようです。熱中症や日焼け対策をしっかりとした上で、外でしっかり遊ぶ。世界自然遺産の奄美で、観光客以上に楽しむ。そんな夏休みであって欲しいと思います。



不審者対応訓練

その後、小湊の駐在所の丸山さんから指導講話があり、実際に下校時の不審者対応訓練を行いました。最近、不審者の声かけ事案が増えてきます。「いかのおすし」を肝に銘じ事件に巻き込まれないようにしましょう。



校内水泳発表会・学校保健委員会・学級PTA

7月9日(土)に校内水泳発表会・学校保健委員会・学級PTAが行われました。校内水泳発表会は、今年も素晴らしい天気恵まれ、絶好のコンディションの中で行われました。今年は、集落の方にも案内を出し、児童生徒の精一杯の泳ぎを見てもらいました。その後、学校保健委員会が体育館で行われ、心肺蘇生法について校長が実演を交えて講話をしました。最後に学級PTAが行われ、1学期の反省や夏休みについてお話しがありました。



薬物乱用防止教室(小5、6年 中学生)

薬剤師の勇径明先生を講師に招聘して薬物乱用防止教室を行いました。薬物を勧められた時、どのようにして断ればよいのか児童生徒が一人ひとり考えました。



租税教室(小5、6年 中学生)

市田税理士(小5、6年生対象)と11人の商工会(スペシャリスト)(中学生対象)の方々から税について話をいただきました。



8月の行事予定

7/25	(月)	プール開放(～29日)中止
7/26	(火)	理科教室(貝採集)
8/ 1	(月)	出校日 ※ スクールバス下校10:45
8/ 9	(火)	奄美市中学生ひかり議会
8/11	(木)	山の日
8/12	(金)	学校閉庁日
8/15	(月)	学校閉庁日
8/16	(火)	学校閉庁日
8/19	(金)	出校日 ※ スクールバス下校10:45
8/20	(土)	青少年育成の日
8/21	(日)	家庭の日・市民清掃日
8/24	(水)	植物、貝、昆虫名付け会
8/29	(日)	PTA奉仕作業(8:00)

崎原小中学校にライフジャケットを22着寄贈していただきました。体験活動等に活用させていただきます。寄贈者は、浜元さん、橋本さん、励さん、田丸さんです。ありがとうございました。